



～地域とともにある学校をめざして～

鯨コミ

R7 年度 CS通信No.8 R7.10.17



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

西北中学校体育大会新人大会壮行式



たくさんの保護者と地域の皆さんが見守る中、西北中学校体育大会新人大会壮行式が、9月12日(金)鯨ヶ沢中学校体育館で行われました。

はじめに、9つの部活から各部の紹介と決意表明があり、大会での目標が掲げられました。

選手宣誓は、剣道部代表が務め、日々の練習の成果を発揮して、最後まであきらめずに戦うという誓いの言葉がありました。

校長先生からは、

「初めから相手を見るのではなく、ゴールだけを見るように、そして、大会が終わった時に、仲間とともにうれしい満足した一日になるようにがんばってください。」

という、激励の言葉がありました。

最後に、3年生からサプライズがあり、特別な応援歌と応援メッセージによって、壮行式は大盛況のうちに終了しました。

稲刈り体験学習(舞戸小第5学年)



9月16日(火)、6月に苗を植えた風丸農場の田んぼで稲刈り体験を行いました。

この稲刈り体験学習には、教職員の他、つがるにしきた農協から5名の職員が指導に入りました。また、舞戸小担当の地域学校協働活動推進員渋谷貴子さんの呼びかけで学校支援ボランティア3名が集まり、児童の活動支援を行いました。

はじめに農協の神さんから、

- ・かまを使うので、気をつけて作業を行うこと
 - ・親指を上にして稲をつかみ、下から5cmくらいのところを刈ること
 - ・刈った稲は、いったん田んぼの外に置くこと
- というお話がありました。

稲を刈るのは初めての子がほとんどで、最初は苦労していたようですが、農協職員と学校支援ボランティアの適切な支援により、慣れてくると、サクサクと稲刈りが出来るようになりました。

学校支援ボランティアの皆さんは、稲を束ねる作業も率先して行いました。児童に感想を聞くと、「最初は、稲を刈りにくかったが、鎌の向きを変えたら、サクサク刈れるようになった。」と、話していました。

地域の方が指導するクラブ活動(西海小)



10月3日(金)、西海小運動クラブでは、スポーツ振興班の三橋班長とスポーツ推進員の伊東さんを講師に、ピンボールに挑戦しました。

ピンボールは、ピンにボールを当てて、ピンが反転すると得点が入ります。ボールのスピードが速すぎると、反転したピンが元に戻ってしまうので、子どもたちは、片手で投げたり、両手で投げたりしながら、コースとボールのスピードを調整していました。初めて行うスポーツに、子どもたちは歓声を上げながら、楽しんでいました。